

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同  
自然人類学分科会（第24期）第1回議事録

1. 日時：平成29年1月26日（金）13:00～14:00

2. 場所：日本学術会議6階6-C（1）会議室

3. 出欠：

出席者：稲村、窪田、河内、斎藤、諏訪、竹沢、徳永、長谷川、馬場、宮崎、各委員

欠席者：印東、山極各委員

4. 議題

(1) 自己紹介

(2) 役員を選出：

委員長：山極委員が推薦され、全員一致で選出された。山極委員は欠席のため、馬場副委員長より改めて依頼をする（後に山極委員が了承した。）。

副委員長：馬場委員が推薦され、全員一致で選出された。

幹事：河内委員が全員一致で選出された。

(3) 23期からの申し送り事項について

23期第5回議事録に基づいて、馬場副委員長から、以下のような前期の委員会からの申し送り事項について説明があった。

- ・自然人類学の専門家を養成するために何をしたら良いか、また世間一般に人類学を普及するためにどんな支援ができるかを区別して考え、戦略的具体策を図る。
- ・日本人類学会および日本霊長類学会との連携を強化する。そのために、両学会理事会メンバーに自然人類学分科会委員会のオブザーバになるよう要請する。
- ・総合的人類学の発展のために、人類学関連学会協議会に属する学会など関連分野の研究者とのネットワークを広げる。
- ・シンポジウムやサイエンスカフェを積極的に開催する。
- ・委員やオブザーバが出席しやすくするために、開始時刻を6時以後にすることも考える。

申し送り事項については新規委員からの反対はなかった。委員会開催時刻についての申し送り事項に関して、「開催日を土日にすることも考える」ことが抜けているとの指摘があった。

(4) その他

- ・竹沢委員によって、サイエンスカフェ「DNAからみる集団と個～沖縄、日本、アジアを例として～」を開催する提案書が日本学術会議に提出された。2018年3月3日、15:00～17:00 ジュンク堂書店那覇店で開催される。日本学術会議

自然人類学分科会と京都大学人文科学研究所科学研究費基盤研究(S)「人種化プロセスとメカニズムに関する複合的研究」の共催である。

- 宮崎委員よりこれまで行った提言等について質問があった。馬場副委員長より、第22・23期には提言はしなかったが、第24期には「縄文人に学び、若年者の歯並びを良くする食育」のような提言を考えたいとの意見があった。
- 宮崎委員より、関連分野との交流に関連して、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）の「海外調査フォーラム」および約100団体が加盟する「地域研究コンソーシアム」の紹介があった。
- 次回は4～5月に開催する予定である。